

▶会社の概要や特徴

三重県北部に位置し、2本の二級河川と海が臨める自然豊かな町「川越町」にて1935年に創業した当社は、以後86年に亘り、地域に根差し、貢献する経営基盤を大切に、公共土木工事を中心とした総合建設業を営んでおります。また環境に配慮した特許事業「ウィードコート工法」を全国展開するなど新しく事業にも挑戦し続けてます。女性安全衛生パトロール隊「MATSU GIRL」を組織するなど女性の活躍が目覚ましく笑顔が絶えない職場です。

▶取り組んだ理由きっかけ

若手社員の定着、新卒採用者の確保が喫緊の課題であり、またベテラン社員を中心に、長時間労働の常態化が見られた事から、それぞれが自分の時間を大切に、趣味や運動、学びなどやりたい事に時間を費やすことができる環境を整えることで、公私ともに健やかな暮らしを全うしていただきたいとの思いから週休2日実現に取り組みました。

▶実現による効果など

子育て世代を中心に家族や子供と向き合う時間が増えることで様々な家族問題をより深く理解し、それらを社員間で相談し合うことで、社内のコミュニケーションが活性化され、悩みの共有による心の健康、改善による家庭円満など嬉しい声が聞こえてきます。

また若手社員も自らの時間を十分に確保できることになり、心のゆとりから仕事への意欲が向上しつつあり、ベテラン社員との関係も深まることで声が上げやすい作業所が増えました。また労働環境が改善されたことで、若手社員の友人など中途採用者の確保にもつながり、定着にも期待が膨らみます。

中には「休みより仕事をしていたい。」と話す仕事人がおりますが、これを機に仕事以外のやりがいを探すきっかけとなってもらえればと考え、総務部を中心に対話を続けております。

▶4週8休実現へのプロセス

ICT技術採用による業務の効率化を図り、また作業所長に対しワークライフバランスの重要性について定期教育を実施したことで協力会社を巻き込んだ意識改革が進み、4週8休制を実現。また同年より年次有給休暇の計画的付与協定を結んだことで年平均10日を超える取得につながりました。

▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

休日の確保と工事の進捗は両立させる必要があり、工種や天候による影響を加味した適切な工期設定や延長を、また作業員増員・設備投資・リース機械の経費増加が顕著であり、適正な補正が実現できるよう発注者・元請・下請が一体となって課題克服に向けて協議を続ける必要があります。

元請として、ICT機器をはじめ設備投資の積極的導入や個別面談による意識改革を進めることで業務の効率化を図り対応に当たっております。

ただし、週休2日制は、他業種では多くの企業が導入済みであり、労働時間、賃金面、労働環境面において他業種を超えなければ人材定着・確保にはつながらず、発注者を含めた業界関係者が声を上げ続ける必要があると感じます。

▶独自の取組や工夫されてる点

- ・ICT機器導入による管理業務軽減
- ・グループウェア、WEB会議システム導入による移動時間短縮
- ・時間単位の有給休暇取得可能
- ・状況により勤務時間内の通院承諾
- ・大型連休となるよう休日設定